

---

# いじめの先に

呉羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
いじめの先に

【Nコード】  
N4129F

【作者名】  
呉羽

【あらすじ】  
私は、羽原ニコです。毎日が、いじめの毎日でも、その先には・・・。

いじめ・いじめ・いじめ。いつもいじめ、どうすればいいの？  
お母さんは・・・いない。だって1年前に亡くなったの・・・お  
父さんは会社で、いない。

お兄ちゃんもい・な・い！ 学校だもん！ だから1人暮らし。

だからもう、自殺しても・・・いいよね？

悲しむ人いないしね！だってね・・・お父さんは、私そっちのけ  
で新しい彼女と、遊びほうだいだし。

お兄ちゃんは、どこかにいる。

てことで、自殺！

じゃあ遺書、書こう。

皆、バイバイ！ 私はこの世界からおさらばでござんす。じゃあ  
ね、みみちゃん、せなくんなど

私は遺書を書いた。

これでよし。屋上に行こう。

じゃあね、この世界、みんなあ・・・。

あれ、死んでない。どうしてなのかな？　かな？

「きみ・・・自殺はダメだよ・・・」

「誰？　あんたは」

「自殺はダメ」

どうせ、悲しむ人なんていないんだし。あんたに私の何がわかる？

「なんで？　てか、あんた誰？」

「いいから。おんぶしてあげる」

無視しないでくださいよ・・・。

しぶしぶ私は、少年の背中に乗る。

「私の質問に答えてくださいよ！」

「なんで、自殺をしたの？」

「関係ないじゃん」

「わかった、いじめでしょ」

「はつきり言います、はい、そうです。何で分かったのですか？」

「勘・・・かなあ？」

少年は答えた。なんとも曖昧な答えだこと。勘、だって？ ぶざけたことをぬかしてんじゃない。

「おろせ・・・」

「ん？ なに」

「おろせっ、はなせっ！ 私は死ぬ、死んでしまっただあゝ！」

私は頭が真っ白になった。泣きながら少年の肩を殴った。少年は、冷たい目で私をにらんだ。

「じゃあ、勝手に死んでしまえば！？ 君がいなくなったって別に僕はどうもしないけどね！？」

少年はいきなり口調が変わり、私に言い放った。

「あ、ご、ごめんなさい」

「分かればいい・・・よ」

少年は、優しく、私の頭を撫でた。

「くすぐりたい／＼」

「もうだめだよ、死のうと思っつのは」

「分かったよ／＼」

「分かればよし」チュ

／／／

「な・なにするのよ／＼」

「なにつて、ほっぺにチュだよ？」

／／／／

「分かってる、そんなの／＼」

「あつ、もしかして、照れてるの」

「ち、違うもん／＼」

「僕、君のこともーう大好きになった」

「もう、ダメ・・・」 「えっ？」

いろいろ、ありすぎて、私は倒れてしまった。

「うう・・・。」

「起きた、良かった、急に倒れるんだもん」

「ごめんなさい、あんなに、言われたの始めただから／＼」

少年は、黙った・・・そして次の瞬間、彼の唇が私の唇と、重なった。

「キミ、可愛いすぎだよ」

「／＼この私が・・・可愛い？」

「うん、そうだよ、だから、いじめなんかで死なないで、皆と話してみて。何かが変わると、僕は思うよ。だから、頑張って君なりにね。」

「うん、私、頑張るよ皆と仲良くなりたいしね」

「あつそうそう、僕のこと、覚えてる？昔、会ったよね」

「昔・・・？いつ会ったけ？」

「3年前に・・・」

「3年前・・・、あつ、もしかして、隼人くんなの？」

「正解、僕は、伊藤隼人」

「嘘でしょ、本当に、隼人くんなの・・・」

「もちろん、本物だよ」

「アメリカから、帰って来たんだね」

「うん、先週帰って来た。」

「また、一緒なんだね、嬉しい」

「そうだね、僕も嬉しい。」

「僕と・・・付き合ってください。」

「うん、喜んで／＼」

皆と話して、いじめは、なくなった。

「おはよ、ニコ」

「おはよう、隼人くん」

私は、今、ものすごく幸せです。

おわり





## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4129f/>

---

いじめの先に

2011年3月17日22時00分発行